

## 地域で活躍する人材からの意見聴取について

平成28年10月28日

栃木県総合政策部

### 1 目的

総合戦略の推進に当たっては、外部有識者による検証機関において意見聴取することとしているが、戦略の実効性を更に高めるとともに、地方創生の先駆的な取組を行う上では、各分野で専門的な知見を持ち地域で活躍する人材、いわゆる“地域の達人”（エキスパート人材）からの意見聴取が有効である。

このため、知事と“地域の達人”が直接意見交換を行い、県・市町が行う地方創生の施策や取組の参考に資する。

### 2 参加者

県：知事、総合政策部長ほか

市町：地方創生担当課室長ほか

達人：各市町からの推薦により選定（1市町2名程度）

※“達人”の選定にあたっては、行政との関わりの多少に関わらず地域で活躍する人材を対象とし、“達人”の分野や選定基準を設けず、各市町の意見を踏まえ柔軟に対応

～“地域の達人”の例～

- ・農業：付加価値の高い野菜を栽培し、「隠れた特産品」を生産
- ・まちづくり：空き家を利用した店舗を開業し、地域の賑わいを創出
- ・移住：県内に移住定着し、カフェを開店して新規移住者の相談に対応

### 3 開催日・会場

「知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム」の開催日にあわせた実施を検討

県内を5ブロックに分割し、元気フォーラムを開催する市町を会場として設定

### 4 会議の活用等

- ・各ブロックにおける“達人”の意見等については、とちぎ地方創生連絡会議等を通じ、県と全市町が情報共有し、それぞれが今後の地方創生の施策や取組（横展開）の参考とする。
- ・さらに、広域連携の取組に参考となる意見等については、県、関係市町において、別途調整していく。